

「松江市過疎地域持続的発展計画（案）」についての 意見募集の結果及び意見に対する市の考え方

1. 意見募集の結果について

募集期間	令和3年9月7日（火）～9月21日（火）
資料公開場所	市ホームページ、本庁行政資料コーナー、鹿島町・島根町・美保関町の各支所及び公民館、本庁地域振興課
意見提出者数	18名 及び 1団体
意見件数	37件

2. 意見の概要と市の考え方

別紙「松江市過疎地域持続的発展計画（案）に対するご意見と対応」のとおり

3. パブリックコメント等を反映した計画の主な変更点について

- ・「松江市公共施設適正化計画」を各項目に記載しておりましたが、「1 基本的事項」の項にまとめて記載するよう変更しました。
- ・「3 産業の振興」の(3)事業計画(P33～35)の中に、「恵曇港・周辺活性化事業」を追記しました。
- ・「8 医療の確保」の(2)その対策(P56)に、「医療の空白地域が生じないように、在宅医療（訪問診療や訪問看護、ICT等の技術を活用）も含めて地域医療を維持していくことを検討していく。一方、通院が難しい在宅の高齢者に対し、身体状況等によりタクシー移送等の支援を行い、医療を継続して受けることができるよう支援を行う。」を追記しました。
- ・「8 医療の確保」の(3)事業計画(P57)の中に、「野波診療所運営事業」を追記しました。
- ・「10 集落の整備」の「自治機能を備えた健全なコミュニティの育成を図ることが必要である。」(P63)を、「維持、発展を図る必要がある。」に変更しました。
- ・その他、語句の修正・追加を行いました。

松江市過疎地域持続的発展計画（案）に対するご意見と対応

※松江市過疎地域持続的発展計画（案）のことを、過疎計画（案）を表記しております。

No	項目	ご意見	対 応
1	全 体	過疎計画に掲載されるよう地元のアイデアとして提出したが、事業主体や事業費等が明確になっていないため事業として掲載されなかった事業についても、今後協議を重ねていくことをお願いしたい。	過疎計画（案）に具体的な事業として掲載しなかった事業は、今後地元の皆さまと市と一緒に協賛していきことで具体化していければと考えております。市としましても、一つでも多くのアイデアが実現できるよう、支援してまいります。
2		今回の計画に掲載が見送られた事業についても、今後、過疎計画に掲載される可能性はあるか。	今回掲載を見送った事業は、事業主体や運営方法等が具体化し、事業化することになれば、改めて議会の承認を得て、過疎計画を変更し、事業掲載することは可能です。
3		地元にはプレーヤーがいない。プレーヤー養成や組織づくりなどに関する市の考え方を教えてほしい。	地域のプレーヤー（担い手）不足は過疎地域共通の課題であり、全国共通の課題でもあります。そのため新過疎法では、新たに「人材の確保・育成」の項目が追加されました。 担い手を育成するためには、地域住民の皆さまが主体となって、課題を自分ごととして共有し、その中で地域に関わる人材の発掘やリーダーが育つ環境をつくるのが重要だと考えております。 市としましても、各種補助金や地域づくり研修会などの制度を活用しながら、地域の皆さまと一緒に地域づくりを支援してまいります。
4		地元で新しいプロジェクトをはじめようとした際、初めてのことに戸惑う。アドバイスをいただくような専門家を派遣していただけないか。	地域で新しいことに取り組まれる場合、分からないことや不安なことがあるものと認識しております。新規プロジェクトに対する専門家派遣につきましては、国や県の様々な制度があり、条件が合えば、講師の派遣などを受けることができます。また、市の地域おこし協力隊や集落支援員の経験や知識が参考となる場合もありますので、まずは、ご相談いただければと考えております。
5		「松江市公共施設適正化計画」（以下「適正化計画」という。）が過疎計画各項目の最後に繰り返し書かれており、非常に重要視されているような印象だ。「適正化計画」は、しっかり議論された計画であると思う。しかし、過疎地域の施設が、例えば「適正化計画」に合致しなくても、地域のために必要な施設と判断されれば、「適正化計画」を変更してでもやっていただきたい。	「松江市公共施設適正化計画」は公共施設のあり方についての方針を示したものであり、個別の施設については、施設所管課が地元の皆さまのご意見や各施設の状況等を勘案しながら、検討を進めることとしております。 なお、「松江市公共施設適正化計画」を各項目に記載することにつきましては、国が示した作成例に準じて記載しておりましたが、検討した結果、改めることとし、「Ⅰ基本的事項」の項にまとめて記載するよう変更いたします。

No	項目	ご意見	対 応
6	全 体	今までいろいろ意見を言ってきたが、市はシャットアウトであった。縦割り行政で、「うちではない」ばかり言っていては進まない。住民の意見はどのように聞いてもらえるのか、教えてほしい。	市民の方の困りごとやご意見は、市民生活相談課の伺います係や支所で承っており、必要に応じて、現地確認の上、担当部署や、その他適切な相談先をご案内しております。 今後、「市民に寄り添う市政」を実現するため、オンラインアンケートや市長との対話集会の開催など、気軽に意見を発信していただける仕組みを創ることとしております。併せて、市役所職員も年代や部署にかかわらず、活発に意見交換できる「風通しの良い市役所」を実現し、市民の皆さまの声を生かした地域づくりを実現してまいりたいと考えております。
7		我々の記憶にあるうちに、一つでも目にみえる形で実現していくと光がみえてくるのではないかと思います。	市としましても、地域からいただきましたアイデアを市政に反映し、皆さまと一緒に一つでも二つでも事業化することで、見える形で成果を共有できればと考えております。 そのためには、地域の皆さまのご協力が必要ですので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。
8		3町が連携した事業はなかったか。	各地域から出されたアイデアの中には、「空き家対策」や「地域生活維持」など共通するものがありました。これらにつきましては、共通課題として取り組んでまいります。
9		若者の定住や芸術家の定住と言っても中々続かないでしょう。やはり地域のお住まいの方々と一緒に盛って盛り上がる継続した取り組みが必要ではないかと思えます。都会に住む子供や孫たちがたまに来てお爺ちゃんやお婆ちゃんと一緒に何かする****と言ったイメージです。お爺ちゃんとだったら近くの海に魚釣りにいくとか貝取りをすとか、竹細工や遊び道具を作ったりとか、お婆ちゃんとなら餅や団子を作ったり、漬物を作ったり、そう言うのを定期的に行う事から始めたら如何でしょう、きっと定期的に行われてたら子供のみならず若者も参加する様になると思えます。	貴重なご意見として承りました。 市では、未来を担う子どもたちはもとより、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちをめざして、令和3年3月に「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」を制定したところです。今後、子どもや若者と高齢者の方が、一緒になって、昔から松江の暮らしの中にある料理や遊びなどの生活文化を体験できる地域づくりに取り組んでいきたいと考えております。
10		松江市の過疎地域について、まず財源確保に力を入れて欲しい。特にふるさと納税について、松江市がふるさと納税の額が少ないです。総務省によれば松江市0.8億 出雲市5億 境港市3.8億 米子市9億 安来市6.2億 奥出雲市3.6億 海士町1.2億という状況であり、担当者を変えたり、近隣に方法聞いて改善すべきです。 ふるさと納税の返礼品として、魅力が高い、イカ、サザエ、アワビ、鯛、のどくろなど、浜田、境港のような魚介類の返礼品をできる体制を作る。境港からの蟹を美保関で加工して返礼品にする。観光船チケット、渡し船チケットを返礼品にする。一定期間漁業権を返礼品にして舟の貸し出しなどもする。漁具の貸し出し空き家一月住める券など魅力的な返礼品をつくる。	貴重なご意見として承りました。 財源確保は重要だと考えており、過疎地域で活用できる国の交付金や過疎対策事業債の他、半島振興地域や中山間地域を対象とした有利な補助金等、様々な財源を活用するよう努めてまいります。 また、ふるさと納税につきましては、今年度から、情報発信の強化や返礼品の魅力アップなど、取組強化を進めております。

No	項目	ご意見	対 応
11	全 体	<p>放置されているものを早めに手を打つ、漁港には使われてない舟の整理、空き家の整理、耕作放棄地、山など放置されないようにあらかじめ所有者を明らかにし、10年後、20年後どうするかははっきりさせる。</p> <p>マリンゲートしまね 加賀港が利用されていないので、道の駅マリンゲートしまね、海の駅加賀に改名することで、検索しやすく集客につながるのこのような工夫も必要。</p> <p>加賀桂島についてフリードローン、フリー漁業権、フリー花火など地形を活かした名所にしてほしい。</p> <p>キャンピングカーが止めれたり車中泊もできるようにすれば釣り客、観光客が来てくれる。加賀くけど遊覧は一回だけだが、土日だけでも渡し船を出すと釣り客の増加が期待できる。考え方として財源確保して放置されているものを、片付けて行けば新しいことが、しやすくなると思います。</p>	<p>今ある施設や資源を活用することは、重要なことだと考えております。公共施設につきましては、「松江市公共施設適正化計画」を策定し、今後の方針を定めております。</p> <p>個別の施設につきましては、施設所管課が地元の方のご意見や各施設の状況等を勘案しながら、検討を進めることとしております。</p> <p>人口減少や少子高齢化の進行に伴う施設需要の変化や厳しい財政事情など環境の変化に合わせ、中長期的な展望のもと、柔軟に対応したいと考えております。</p>
12		<p>同じ旧八束郡でも半島部ばかりが過疎地域に指定されている。玉湯町や東出雲町のような地域は出雲や米子等に行く際に必ず通る場所である。ところが、半島部はそこに用事がないと人が来ない。半島部が過疎地域から脱却するためには目的地たり得る場所にならなければならない。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。</p> <p>目的地としてどのような町を目指したらよいのか、地元のことを一番ご存知の地域の皆さまが主体となって、市と意見交換をさせていただきながら、理想の地域像を共有していければと考えております。</p> <p>地域の魅力の情報発信等につきましても、市として支援してまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。</p>
13		<p>意見を聞く際に、テーマを絞って意見を聞いたかどうか。また、エンドレスに聞いたかどうかと思う。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。</p> <p>今回は、過疎計画を11月議会に提案することから、意見募集の期間を区切らせていただいたところです。また、限られた期間で多様なご意見を伺うため、「地域版まちづくり総合戦略」に沿ってご検討いただき、ご意見をいただいたところです。</p> <p>引き続き、地域の皆さまとの意見交換をさせていただきたいと考えております。</p>
14		<p>予算が厳しいといわれるが、お金のことは考えずに意見を言った方が、いいアイデアが出るのではないかと。お金はたくさん使った方がいい。行政はお金をたくさん使って民間を刺激していただきたい。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。</p> <p>地元の皆さまからいただきました各アイデアや事業費につきましては、財政状況を考慮し、議会とも相談しながら進めてまいります。</p>
15		<p>住みにくいから過疎になると思う。自然があるといっても、海は貝が育たない、川はイノシシが荒らし、田は埋め立てられ荒廃している。例えば、山に遊歩道をつくり桜でも植えて、荒廃した自然をある程度見れる状態にし、住んでいる人が余暇を豊かに過ごし満足していれば、人はどんどん増えてくると思う。住んでいる人が満足し、子ども達が帰って、人が外からも来る、そのための投資をしていただきたい。</p>	<p>住民の方が暮らしやすく、将来も住み続けたいと思う地域づくりが重要と考え、過疎計画（案）の基本方針にも掲げているところです。山や海を守る活動は、里山づくりに繋がるだけでなく、活動を通じて、地域への誇りや愛着が育まれるものと考えております。</p> <p>今後、子どもや若者が参加する地域づくりを進め、将来の担い手育成や豊かな自然環境の維持に繋がる取り組みを地域の皆さまと市が一緒になって進めていければと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。</p>

No	項目	ご意見	対 応
16	全体	古い枠組みの中でやるのではなく、新松江方式を提案するくらいのことをしてほしい。	市では、過疎地域の持続的発展の実現に向け、過疎地域で活用できる交付金や過疎対策事業債のほか、半島振興対策実施地域や中山間地域などを対象とした有利な財源を有効に活用し、それぞれの地域の特色を生かしたユニークで、かつ全国の模範となる取り組みを地域の皆さまと一緒に進めたいと考えております。
17	人口目標	人口目標について、現在、住民基本台帳では既に4,700人を割っている。令和7年度の目標値が4,888人となるのは、どのような計算をされているのかなと思う。	令和2年国勢調査の確定値は本年11月公表の予定であり、まだ地域別人口が公表されていないため、現在の目標値算出には、平成27年国勢調査の数値を利用しております。そのため、最新の住民基本台帳と乖離した数値となっております。令和2年国勢調査確定値が公表されましたら、再度、過疎計画の目標値を含め、各数値を修正する変更を行う予定としております。
18		人口目標は、ほぼ現状維持という目標になっている。これが達成できなかったからといって、計画がいけなかったわけではない、ということを共通認識としてもちたい。	ご意見のとおり、人口目標は、本計画を進め、また進捗を管理する上での目標ではありますが、達成の有無で計画の優劣などを判断するものではありません。
19	移住・定住・地域間交流の促進	リモートワークの本格化、大手企業を中心に子育てや介護の為に居住地を問わない本社への移動費全額負担等進める動きがあります。 所謂、勤務地は東京で松江市に居住の人達です。 まだ始まったばかりですが、今までのI,J,Uターン等と違い都会での勤務をし続ける人達への有効な策が現在は無いと思います。 その人達は、自宅でネット経由でパソコンでの仕事を中心になります。 そこで、高速な光通信の導入費の負担とか、自宅を仕事部屋にリフォームする為の補助金とか、それに特化した物が必要であると思います。 これらの人達は今の所給与水準は高いと思われるので、市への税収の増加に寄与するとも思われます。	リモートワークが定着し勤務地を不問とする動きが広がり、首都圏において地方への移住志向が高まっていると認識しております。 県外から移住してテレワークにより業務を行われる場合には、条件が合えば、補助金が交付される県の制度もありますので、周知に努めていきたいと考えております。 また、条件不利を補い、少ない人口で地域社会を維持・発展させるための有効な手段として期待される、ICTなどを活用した取り組みを進めていきたいと考えております。
20		P19 直接に若年層から意見を聞き、先ずは大学生や若い人に1年でも2年でも「住んでみようかな？」という環境づくりをして欲しいと思います。都会では、1時間以上かけて通学、通勤をする人が多い。それを見ると、空き家、空き地を利用して、安い物件で、住んでもらいたいです。海をはじめ、自然に触れて、そして、意外と市街地にも近いという魅力に気づくと思います。	貴重なご意見として承りました。 市といたしましても、特に若い方々が地域の魅力に気づき、「豊かさ」を実感し、誇りと愛着を持っていただくことが、地域の持続的発展を実現する原動力になると考えております。そのためにも、今年度策定予定の「空家等対策計画」に基づく空き家の利活用や、その他の施策により、各地域が魅力的な場所として人材が集まるよう、支援をしてまいります。
21	産業振興	「恵曇港再活性化事業」（事業主体：未定）の追加記載をお願いしたい。かつての「港町」の復活を目指し、「恵曇港再活性化事業」を過疎脱却の起爆剤としたい。	ご意見を踏まえ、「恵曇港・周辺活性化事業」として掲載することといたします。 アワビの陸上養殖を推進し、アワビを活用した特産品開発などに取り組むとともに、他の水産資源を活用した水産振興にも取り組むことで、恵曇港や周辺の賑わい創出を目指したいと考えております。
22		「海の駅構想」への事業着手（予備段階として）の足掛かりとするため、コンサルへの調査費用を予算化していただきたい。	「恵曇港・周辺活性化事業」の中で検討してまいります。

No	項目	ご意見	対 応
23		「佐太神社周辺観光文化振興事業」（事業主体：松江市または未定）（関係課はまちづくり文化財課ではなく観光文化課）として掲載を希望する。	佐太神社周辺の観光振興につきましては、まずは、佐太神社及び佐陀神能の魅力を国内外に情報発信することで、認知度を向上させるとともに、地域の皆さまによるおもてなしに取り組むことで、集客力を高め賑わいを創出することが重要だと考えております。賑わい創出の実現に向けて、地域の皆さまと一緒に考えて取り組みたいですと考えております。
24		佐太神社の周辺整備について、掲載してもらえないか。これを土台にしてまちづくりをやっていききたい。	佐太神社周辺の観光振興につきましては、まずは、佐太神社及び佐陀神能の魅力を国内外に情報発信することで、認知度を向上させるとともに、地域の皆さまによるおもてなしに取り組むことで、集客力を高め賑わいを創出することが重要だと考えております。賑わい創出の実現に向けて、地域の皆さまと一緒に考えて取り組みたいですと考えております。
25		中海は干拓がはじまるまではウナギやサルボウなど資源の宝庫であった。松江市にはウナギ放流など、それなりに協力していただいている。後継者不足などの問題もあるが、ぜひサルボウが復活できるような地場産業支援をお願いしたい。	市としましても「サルボウ資源調査事業」として掲載し、資源調査や養殖施設整備等を通じて魚種の復活を支援してまいりたいと考えております。
26	産業の振興	<p>P26 コンビニ誘致</p> <p>将来を担う、担って欲しい思いから、地元の中高校生に直接聞くと、若者にとって魅力的で暮らしやすい環境の一つとして、必ず口にします。「コンビニも無いような所になんか住みたくない」「恥ずかしい」「不便すぎる」等々。</p> <p>大芦、加賀、野波の3地区のうち、大芦が一番人口が少なく、とても深刻です。市街地との玄関口として大芦にあれば、加賀、野波地区の人も通勤、通学、通院等、3地区の住民が利用できます。また、真冬でもサーフィン、釣り人はいます。夏は海水浴、サップ、キャンプ等、市街地から買い物をしてから来なくても利用者はいると思われます。（多分ですが…？）そして、グラウンドゴルフ、ゲートボールをされる高齢者にとっても、自炊が面倒になりつつある高齢者にも喜ばれることと思います。ちょっとした買い物で、市街地まで出かけなければならないのは、あまりにも不便だと感じています。ただし、中心地の加賀に誘致となれば、これまで通り、大芦の人は市街地に買い物に行くことになる（加賀や野波ばかり！というような偏見？ヤキモチ？疎外感？も含め）ので無意味かと思えます。そして、若者は将来的にも大芦を離れることになるので、大芦に誘致をして頂くことが良いと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。</p> <p>過疎地域の生活にとってスーパーや商店、コンビニエンスストア等の立地や移動販売等の買い物支援は重要だと考えております。これらにつきましては「地域生活維持事業」として掲載し、今後も引き続き検討していくこととしております。</p> <p>なお、コンビニエンスストアの出店につきましては、民間事業者が採算性などを判断して行うものだと考えており、市が主導して誘致を図ることは現在考えておりませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
27	交通施設整備	7/12の大雨災害で千酌から中海へ繋がる道路4本のうち3本が不通となり一番遠回りの道だけ残った。美保関町でも災害に強い避難道路をお願いしたい。	避難道路につきましては、各地域からご意見をいただいております。市としましても共通課題と認識しております。過疎計画（案）では「道路整備事業」として包括的に掲載しておりますが、今後の検討により、事業主体や事業費等計画が具体的になりましたら、過疎計画を変更し、事業化したいと考えております。

No	項目	ご意見	対 応
28	交通施設整備	道路が、特に旧道になると草が生えたり、法面から木が生えてきて邪魔になったりしている。	松江市道は約2,000kmあり、すべての路線の維持管理が行き届いていない状況です。このような中、地元の皆さまにご協力をいただいて行う道路の草刈り等に対して、委託料をお支払いする道路愛護団の制度がございますので、活用をご検討いただきますようお願いいたします。
29		P38 主要地方道松江島根線のみであることから、渋滞などの交通障害が起こりやすい。 （仮）しまね持田だんだん線（防災道路） （約）L=6,500m（トンネル）	「道路整備事業」の中で、検討してまいります。
30		鹿島の手結地域において、ナメラ川沿いの市道を拡幅し（ナメラ川に蓋をして道幅を広げる）、車が通行しやすいようにしていただきたい。	「道路整備事業」の中で、検討してまいります。
31	子育て環境	町内に子どもが遊べる場所をつくる。（マリングート横の屋根付きの場所にバスケットボール、サッカー、バレー等ができるようにする。）	子どもが遊べる拠点づくりにつきましては、各地域からご意見をいただいております。市としても過疎地域の共通課題と認識しております。過疎計画（案）では「子育て環境の充実事業」として包括的に掲載しておりますが、事業主体や事業計画等が具体的になりましたら、過疎計画を変更し、事業化したいと考えております。
32	医療の確保	過疎地域にとって、医療の確保が非常に重要だと考えている。「8 医療の確保」において、地域の医療体制の確保の扱いが小さすぎる。診療所の維持という書きぶりをぜひしていただきたい。	人口減少や高齢化の進む過疎地域における医療の重要性につきましては、市としても認識しており、「8 医療の確保」における地域医療対策の記載を拡充しました。 また、「野波診療所運営事業」について、掲載することといたします。
33		P55 車の免許返納者は増加する一方です。命と向き合って考えれば、いくら人口が少なくても医療機関が近くにあることが欲しいです。	人口減少や高齢化の進む過疎地域における医療の重要性につきましては、市としても認識しており、「9 医療の確保」における地域医療対策の記載を拡充しました。 また、「野波診療所運営事業」について、掲載することといたします。
34	教育の振興	鹿島地域の子育てについては高校通学が不便なので、バイク通学、電動自転車のレンタルができたり、松江高専内に3年制普通科を作ったりすると鹿島中学から進学しやすい。	児童・生徒の通学につきましては、過疎地域の共通課題と認識しております。市としても「交通移動手段確保事業」として過疎計画（案）に位置づけ、通学等の交通利便性の確保について取り組んでまいります。また、定期券購入費を一部補助する「通学支援補助制度」もありますので、公共交通機関を活用した通学もご検討いただければと考えております。 なお、高等専門学校は国の所管する教育機関が実践的・創造的技術者を養成することを目的として運営しておりますが、高等専門学校の3学年修了時には、高校卒業と同等の資格が認められ、大学受験をすることが可能となっております。

No	項目	ご意見	対 応
35	地域文化の振興等	島根町の民俗資料館の資料は、非常に価値があるものである。民俗資料館の資料整備については、施設は整備しない方針のようだが、ぜひもっと光をあてて、後世に伝えていくことを検討していただきたい。	島根歴史民俗資料館に収蔵する民俗資料のうち漁撈関係資料は、漁具から交易や信仰等に至るまで、幅広く網羅的に収集されており、島根半島沿岸部の歴史や地域性を知る上で大変貴重な資料だと考えております。保存状態も比較的良好であることから、地域要望に応え、ジオパークビジターセンターにおいて展示活用も行っているところです。今後、これらの資料の整理及び調査を進め、資料価値を見極めたいと考えております。その上で、収蔵環境や収集基準につきましては、今年度策定予定の「松江市文化財保存活用地域計画」を踏まえて検討してまいります。
36	集落の整備	7月の大雨災害時に美保関公民館で避難所運営を行ったが、地域住民、自治会の皆さまの連携で、問題なく運営ができた。63ページの「自治機能を備えた健全なコミュニティの育成を図ることが必要である。」と記載してあるが、既に自治機能は成熟していると考えているので、表現を変更して欲しい。	ご意見を踏まえ、「育成を図ることが必要である。」を「維持、発展を図る必要がある。」に変更いたします。
37		必要なガソリン代、替刃代等を支所に渡しておくなど、大きな事業だけでなく、できる所から対応していただくといいと思う。	貴重なご意見として承りました。支所や公民館の予算、道路愛護団制度等、既存の予算を活用した対応について検討したいと考えております。